

本市初

施設一体型小中一貫校

交野市立交野みらい学園

情(こころ)の森、英知の庭、探求の学び舎、グローバルコミュニケーションスクール
令和7年、第一中学校区に新しい学校が誕生します！

子どもたちの『学び』と創造力を豊かにし、人が『集い』、人や自然など様々な『つながり』がうまれる学校、
そして、地域の魅力や誇りになる学校をめざして、整備工事が始まりました。



まなびの森イメージ



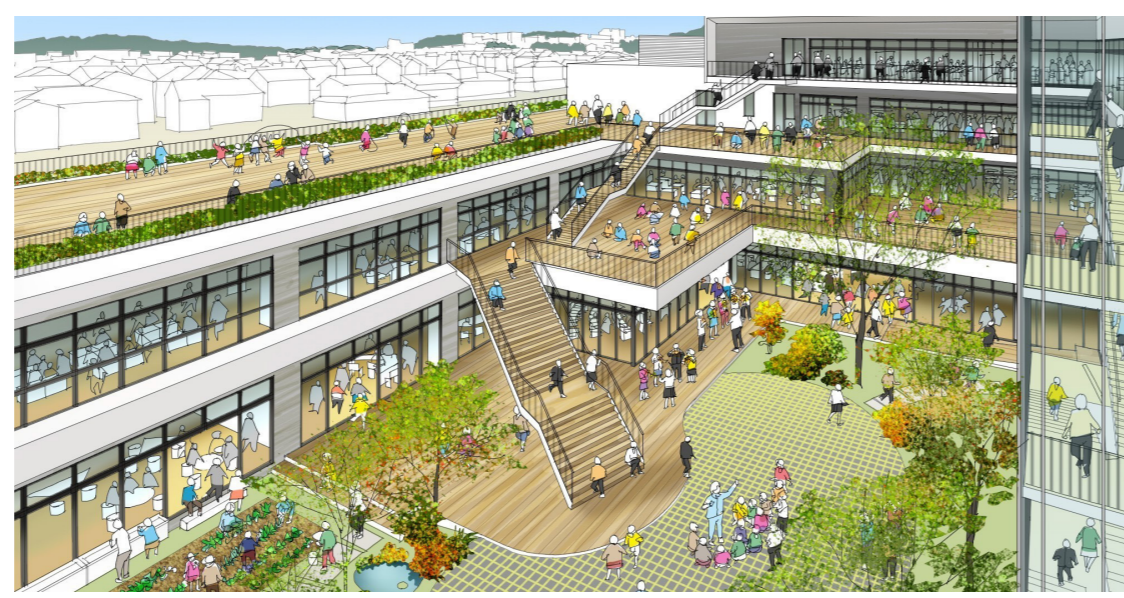
鳥瞰イメージ



壁面緑化した南側外観イメージ

POINT! 地域の歴史を継承した新しい学びの場

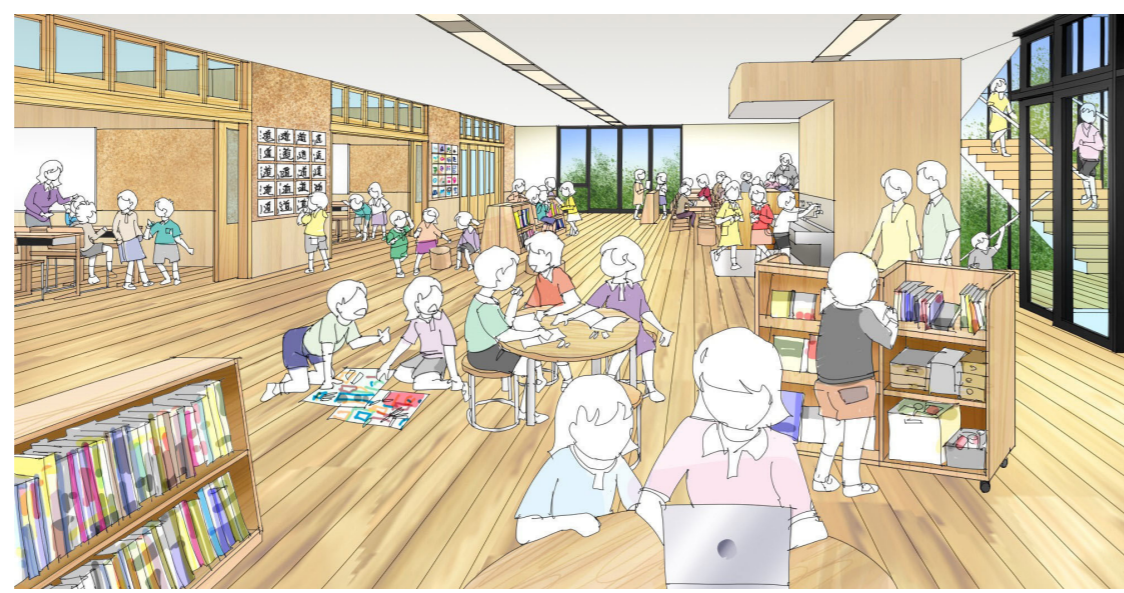
まなびの森に面し、一体的な利用が可能となる各階のテラスや音楽室、多目的ホール(サブアリーナ)、地域と学校の連携・協働のためのスペースを中心に、児童生徒が安心して気軽に外部に出られるようにすることで、地域の愛着と歴史とともに森を継承した、新しい学びの場を実現します。



まなびの森イメージ

POINT! 木質化した心地よい学習環境

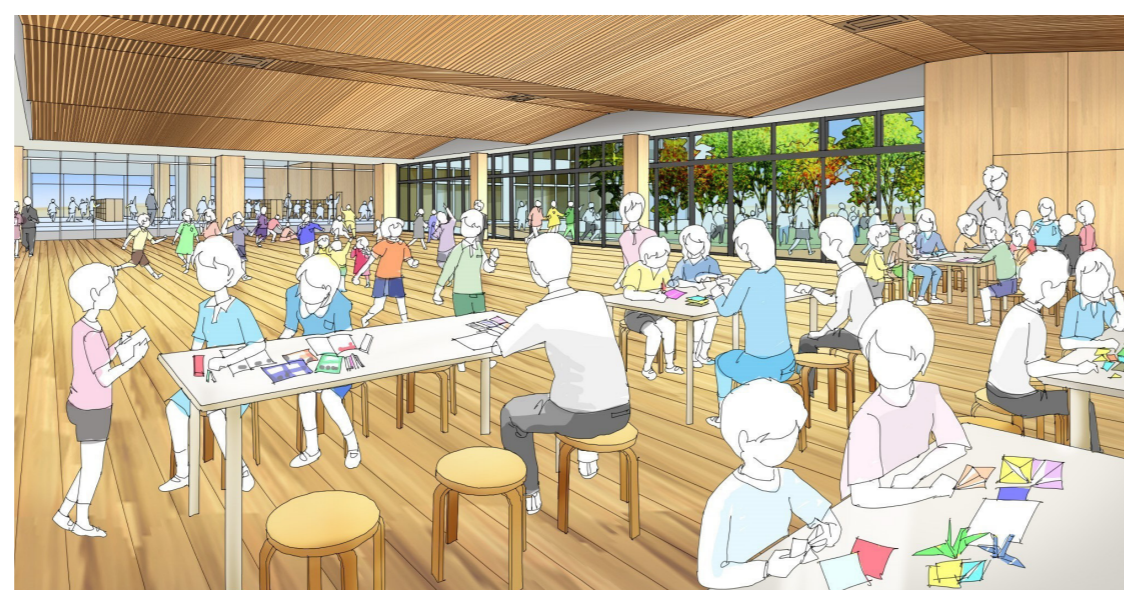
児童生徒の日常的な滞在の場となる教室や学年ラウンジなどを木質化し、校舎全体に木の風合いを感じられる温もりある校舎を実現します。児童生徒の日常利用が多いベンチや椅子の一部は大阪府産材を採用し、地元林業への貢献と地元への愛着を育みます。



木質化した学校内イメージ

POINT! 音環境に配慮した天井計画

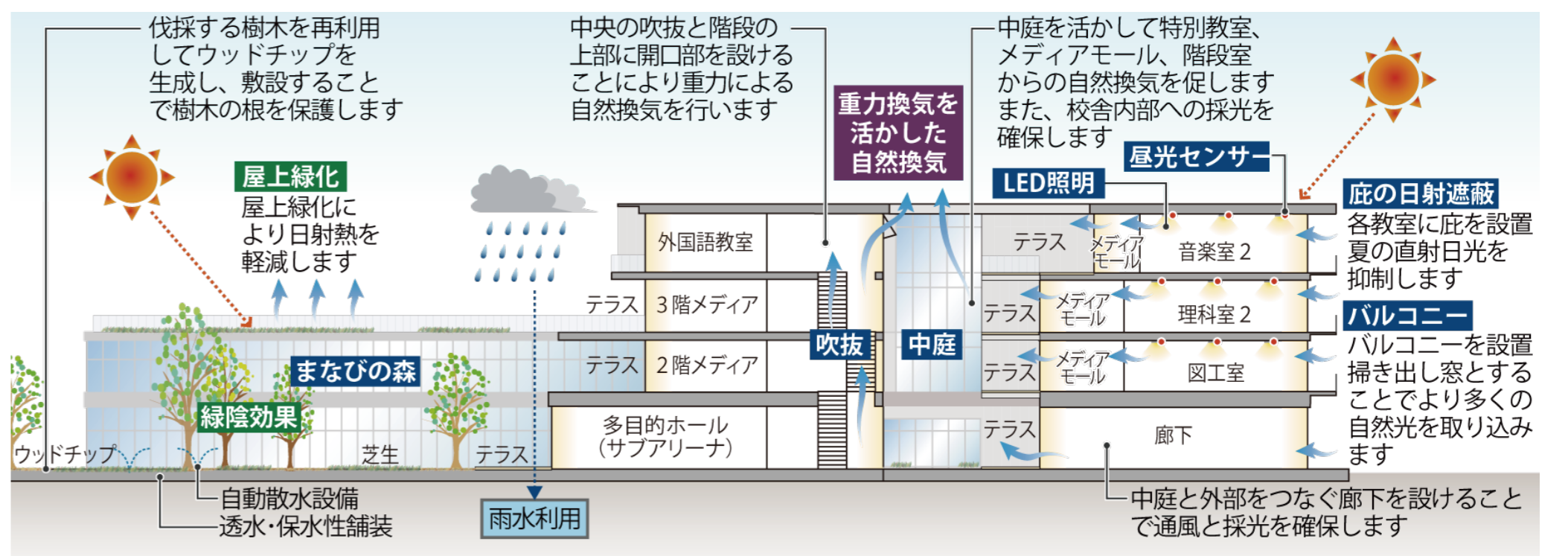
各教室の音環境に配慮した天井を整備します。音楽室は音が1か所に集中しない形状とし、技術室や図工室は作業中も先生の声を通るように吸音性能の高い天井とします。多目的ホールは適切な残響時間となるようにホルパーに隙間を設けています。



多目的ホールイメージ

POINT! 自然エネルギーを活用した校舎

各階にバランスよく計画された窓から、自然採光を積極的に取り入れた明るい校舎を実現するとともに、重力換気による自然通風を促進します。各室の換気回数などを検証し、感染症対策としても換気を重視しています。また、まなびの森を中心とした緑地や屋上緑化に採用する樹種は、保水性が高く、必要な散水回数が少ない植物を選定します。植物の蒸散効果による表面温度と散水回数の低減により、水道使用量の削減が可能となります。さらに、建物の外壁や日射熱負荷の大きな屋上は断熱性能を向上させることで空調負荷を低減し、快適な学習環境をつくります。



環境配慮断面イメージ

POINT! 開校までのスケジュール

より安全・安心で近隣に配慮した工事を実施し、令和7年度のスムーズな開校をめざして進んでいきます。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
設計・建設		解体・土木工事			
		校舎実施設計	新校舎建設工事		
	解体・土木実施設計	確認申請		開校準備	開校

工程表(予定)

これまでの経緯や整備工事の進捗状況など、詳細を市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。
<https://www.city.katano.osaka.jp/soshiki/gakkoukyouiku/manabi-seibi/>



【お問い合わせ】
交野市教育委員会事務局 学校教育部 まなび舎整備課 〒576-0052 交野市私部2-29-1
TEL 072-810-8010 E-mail manabi-seibi@city.katano.osaka.jp